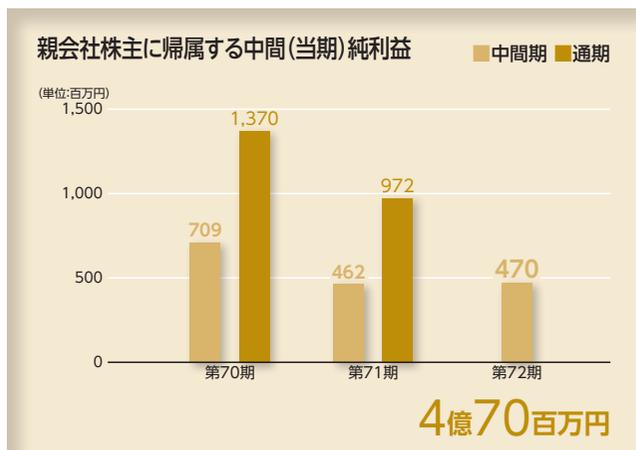


決算ハイライト (連結)

Financial Highlights



会社の概要

Corporate Data

| | |
|------|--|
| 社名 | 株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.) |
| 本社 | 東京都文京区水道二丁目8番6号 |
| 設立 | 1949年12月14日 (創業: 1906年9月15日) |
| 資本金 | 11億4,800万円 |
| 事業内容 | 制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルティング。 機械工具器具とその部品類の加工販売及び輸出入。 古物売買業。 土木建築工事の設計、施工の請負業。 |
| 従業員数 | 連結 259名 / 単体 231名 (嘱託社員を除く) (2020年9月30日現在) |

株主メモ

Shareholder Memo

| | |
|----------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 配当金受領株主確定日 | 3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日 |
| 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 [電話照会先] | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告方法 | 電子公告により行います。 (https://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 |

第72期 中間報告書

Interim Business Report 2020

2020.4.1 ▶ 2020.9.30

先端技術で社会と産業の進化を支える

株式会社 鳥羽洋行
証券コード: 7472

株主の皆様へ

To Our Shareholders



2020年12月

代表取締役社長
鳥羽 重良

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第72期中間期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナという)拡大の影響を受け、世界的に設備投資を控える動きが拡大するなど厳しい状況が続いており、経済全体としては大打撃を受けております。一方、中国においては生産活動の正常化がいち早く進み、インフラ投資などが積極

的に行われたほか、自動車市場においても回復の兆しがみられました。またわが国経済は、コロナによる緊急事態宣言の解除を受けて経済活動が徐々に再開され、政府による給付金や企業の資金繰り強化政策もあり、緩やかな回復基調にあります。しかし、個人消費の回復は一服し企業収益も悪化しており、コロナの影響が長期化を呈する状況に至っております。

このような経済環境下で当社グループの国内販売は、テレワークの普及などによるデジタル化への投資は拡大しており、半導体及び半導体・液晶製造装置に関連する得意先への当社受注は徐々に回復しつつあります。また、自動車・車載部品に関連する得意先は、全体としてはコロナの影響を受けたものの、一部得意先からの装置関連の販売が継続し前年を上回るペースで推移しております。また海外販売は、中国国内のスマートフォン向け電子部品に関する得意先への産業用ロボットの販売は、好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は121億94百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は5億95百万円(前年同期比3.1%減)、経常利益は6億73百万円(前年同期比0.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は4億70百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

制御機器 生産工場の構成には欠かせない

売上高31億59百万円

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体及び半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナという）拡大の影響によるデータセンター等への投資増加やインターネット通販市場の拡大を受けて、半導体及び半導体・液晶製造装置や物流システムに関連する得意先への受注は堅調に推移しました。しかし、コロナ禍のマイナス要因によりOA機器や工作機械に関連する得意先への制御機器の販売が減少しました。

以上により制御機器全体の売上高は前年同期を下回る31億59百万円（前年同期比3.8%減）となりました。



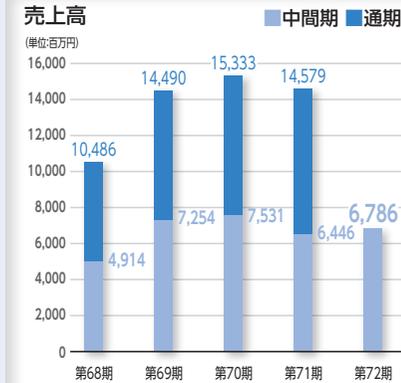
FA機器 工場の自動化・コストダウンを実現

売上高67億86百万円

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、国内外問わず自動化・省人化のための設備投資ニーズはあるものの、コロナの影響により設備投資全体としては消極的に推移しました。このような状況下でありましたが、国内の自動車・車載部品に関する一部得意先からの装置関連の受注は堅調に推移しました。また、海外におきましては、中国国内のスマートフォン向け電子部品に関する得意先への産業用ロボットの販売が好調に推移いたしました。

以上によりFA機器全体の売上高は前年同期を上回る67億86百万円（前年同期比5.3%増）となりました。



産業機器 生産組立て作業に使用されている

売上高22億49百万円

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、半導体市場回復の影響もあり、当社グループが取り扱う半導体関連向けの過フィルターの販売は増加しました。また、自動車・車載部品や環境に関連する得意先からの受注は増加してきております。しかし、コロナ禍における設備投資需要の減速が影響し、産業機器の主たる商品である電動ドライバーやコンベア等の販売は減少するにいたっております。

以上により産業機器全体の売上高は前年同期を下回る22億49百万円（前年同期比7.9%減）となりました。



ベトナム現地法人を設立いたしました。

<新会社の概要>

商号 TOBA,INC.(VIETNAM)CO.,LTD
 代表者 上ノ原 周作
 所在地 Office No.Unit501-B, 5th floor
 V-Tower, 649Kim Ma Street, Ngoc Khanh Ward, Ba Dinh District, Hanoi
 資本金 500,000USD
 (株式会社鳥羽洋行100%出資)
 設立日 2020年6月16日

当社は、高い成長が続いている東南アジア地域においてベトナム市場に着目し、2014年7月より当社の輸出版売先の現地サポートや市場調査の目的で駐在員事務所を設置してまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響等不安材料はありますが、今後も新たな日系製造業のベトナム進出増加が見込まれることから、それらの製造業に対する設備投資需要のサポート拡充が販売戦略上欠かせないものと判断し、販売拠点としてベトナムにおける現地法人を設立いたしました。



正面玄関



オフィスビル外観